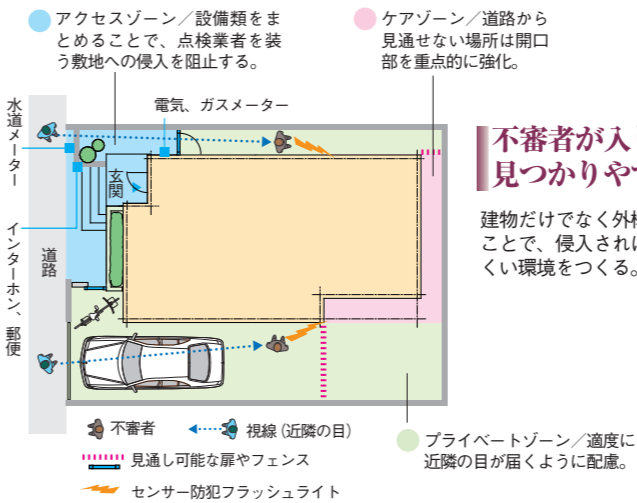


泥

棒がもつともおそれるのは人目。つまり、道路側や隣家から見通れにくい住まいになります。建物の脇やカーポートの奥など死角になる部分は、センサー式のライトやブザー、カメラでガードします。これらは存在自体でも、視覚的な威嚇効果が発揮されることでしょう。

不審者が入りづらく、見つかりやすい敷地計画

建物だけでなく外構を含めて計画することで、侵入されにくく、逃げられにくい環境をつくる。(旭化成ホームズ)



侵

入に5分以上かかると、7割以上の泥棒が犯行をあきらめるといわれています。侵入口となる窓とドア、シャッターは、「CP部品」をはじめとした防犯性の高いものを設置します。窓は防犯合わせガラス、2ロック以上のサッシ、面格子、シャッターなど、ドアは不正解錠が難しいPSタンブラーや防犯サムターン、電気錠など、複合的な対策を。

防犯性を向上させた大きな窓

フィックスとスライドタイプの窓を組み合わせ、車のスライドドアのような開閉方式の窓。中央のハンドル操作で、同時に4カ所のロックがかかる。防犯合わせ複層ガラスを選ぶことも可能。「大開口ビューライトFSW」(旭硝子)

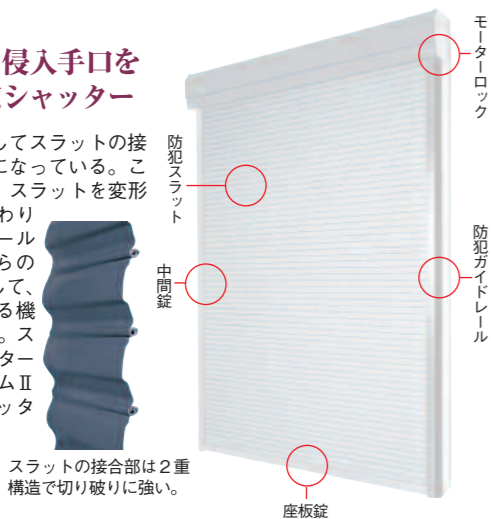


ICチップ方式のカードタイプの電気錠

タッチボタンを押してカード(クレジットカード大のものや切符大のもの2種類)を、ハンドル上部にかざすだけで上下2カ所の錠を解錠することができる。引き戸タイプの玄関ドアにも対応。「CAZAS(カザス)」(トステム)

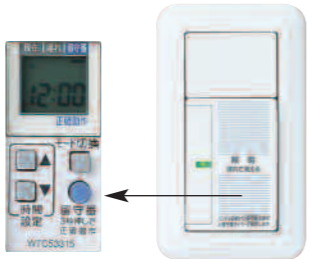
さまざまな侵入手段を阻止する窓シャッター

切り破り対策としてスラットの接合部が2重構造になっている。こじあけ対策には、スラットを变形させてフック代わりになるガイドレールを採用。外側からの不正操作を感知して、ブザーで威嚇する機能もプラスできる。スリット付きシャッター「アルロールスリムII CP」(三和シャッター工業)



留守をカモフラージュする照明タイマーシステム

日常の照明のON/OFFの切り替えに加え、留守番タイマー機能を搭載。外出時にタイマーをセットすると、設定時間に照明が自動的に点灯・消灯され、在宅を装うことができる。「あけたらタイマ」(松下電工)



泥

棒は、侵入前に入念な下見をするといわれています。チャイムを鳴らしても応答のない家、夜になっても明かりがつかない家は狙われやすいので要注意。外出先でも応答できるシステムや、遠隔操作できる照明を設置すると、留守をかモフラージュすることができます。

侵

入経路を塞ぐ——たとえ敷地に入られても、窓やドアなどに近寄るルートがなければ、被害は未然に防ぐことができます。扉や雨樋、庇など侵入の手掛かりや足場にされるものをなくすことと、身体が入る隙間をつくらないことが重要。フェンスや門扉のトータルデザインも考えるようにしましょう。



侵入口を塞ぐ美しいセキュリティ

熟練のクラフトマンの手による、オーダーメイドのロートアイアン門扉。建物と一体化する優美なデザインは、侵入口を塞ぎながら、見通しのよさという防犯効果を併せ持つ。「オンダ・オリジナル・ロートアイアン」(御田製作所)

くら防犯性の高い設備を設置しても、操作が難しかったり、面倒だからと使わなかったら、本末転倒。防犯機器は操作がしやすいことがいばんです。オートロックのドアをはじめ、特別なことをしなくても防犯対策になる設備機器を使うのも得策です。

携帯電話で鍵の開け閉めができる玄関ドア

おサイフケータイ機能搭載の登録携帯電話をかざすだけで、簡単に施開錠できる。オートロック機能の設定もでき、室内側の2カ所に設置した電動サムターンでピッキングも防止。「ヴェナート [JD] 型」(YKK AP)

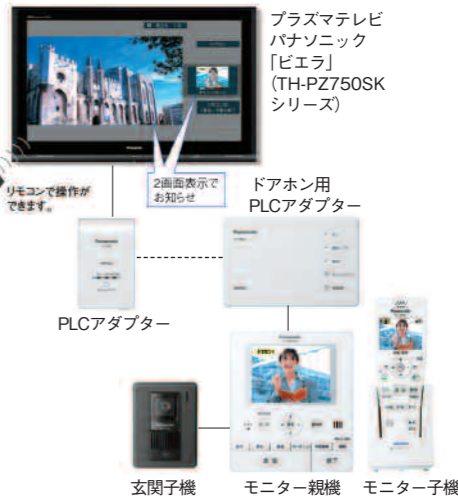


プライバシーの確保と防犯対策を両立させたフェンス

上段はルーバータイプ、下段に縦格子のフェンスを組み合わせた2段構えのフェンス。外部からの視線を遮る一方、足元がオープンなので敷地内の気配が伝わる。「2段柱自由支柱タイプ」(四国化成工業)

テレビとリンクして来訪者を確認できるドアホン

玄関まわりに設置したドアホンカメラの画像をモニター親機・子機だけでなく、対応のテレビに映し出し、応答することができる。屋外タイプのワイヤレスカメラを接続すれば、ガレージの防犯にも役立つ。「家じゅうどこでもドアホン」(パナソニック)



来

訪者を装い、堂々と侵入する泥棒対策は、敷地への立ち入りが見事に不審とわかる外構計画を。録画機能付きのテレビドアホンは、宅配のふりをする泥棒の撃退につながります。